

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
うどん屋さん遊び ～うどんのうーやん～	小	グループ学習 高学年アシカ （国語・算数）	下西 佳子

<ねらい>

- ・絵本の読み聞かせをイメージを膨らませて見聞きする。
- ・役割をもった遊びに取り組み、友達との関わりを豊かにする。
- ・遊びを通して、数の基盤となる力を広げる。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

○絵本の読み聞かせ『うどんのうーやん』出版：ブロンズ新社 作者：岡田よしたか
うどん屋さん注文が入るが、人手が足りず、うどんのうーやんが自分で配達に行く。途中で、おなかをすかせた猫に食べさせてあげたり、川や山を越えたり、トンビに襲われたりしながら、うめぼしばあさんやたこやき、えびフライなどいろいろな具材と遭遇したうーやんは、全て器の中に入れてあげる。お客さんの家に到着し、無事に配達終了。どんな具材が出てくるかに注目して見聞きした。

○うどん屋さんあそび

お客さん、お店屋さん、作る人に分かれてうどん屋さん遊びをした。お客さんになった人は、部屋を決め、下から○番目、右から○番目の表に書き込む（配達の人に分かるように）。注文するメニューを自分の注文票に書き、電話でやりとりする形で注文した。具材の数は、児童が整理して考えられる程度の数に設定して取り組んだ。お店屋さんは、注文を聞き取りチェックし、作る人に伝える。作る人は器に盛り付け、配達に行く。部屋の場所を表で確認し、うどんを届けた。



<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・具材は事前に準備した物を使っていたが、つくるの授業で一つずつ自分たちで作って遊びで使うことができた。
- ・役割に合わせて、必要な物を写真で示すことで、自分で用意できるようになった。
- ・お店屋さんとお客さんの設定から言葉のやりとりが出てくるようになり、友達と関わり合いながら取り組むことができた。

<その他（材料、費用、購入先等）>

- ・部屋、注文票、お盆、箸、具材、器、エプロン

